

評価細目の第三者評価結果

(障害者・児福祉サービス分野)

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

	第三者評価結果	コメント	
I-1-1(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。			
I-1-1(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	<ul style="list-style-type: none"> 基本方針は、ホームページ・パンフレットに掲載し、いつでも誰でも見ることができ周知を図っている。 職員に対しては、入職時研修・年度初めの職員会議で周知をしている。 また利用者(家族・後見人等)には、見学時等、重要事項説明書等を用いて説明を行っている。 	1

I-2 経営状況の把握

	第三者評価結果	コメント	
I-2-1(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。			
I-2-1(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	<ul style="list-style-type: none"> 法人は、経営・運営に関する見識を有する者で構成された理事会・評議会で事業報告・取り巻く環境・地域の福祉ニーズが分析把握され、計画・収支予算等の検討・承認が行われている。 管理者は行政からの情報・地域施設長会・病院主催の障害福祉サービスの集まりなどからも情報収集し動向を把握している。 	2
I-2-1(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	<ul style="list-style-type: none"> 課題として利用希望者が途切れず、また系列施設卒園者の受入れもままならない状況にある。中長期計画にて施設増設とそれに伴う人材確保を上げ実現すべく法人本部や福祉大学や関係各所と連携を図る等努めている。 	3

I-3 事業計画の策定

	第三者評価結果	コメント	
I-3-1(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
I-3-1(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a	<ul style="list-style-type: none"> 法人理事会の定時評議員会資料集に記載し理念や基本方針・地域の実態・収支計画を基に理事会で中長期計画を策定している。 理事会には当該施設からも担当者が参加し発言している。 	4
I-3-1(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	<ul style="list-style-type: none"> 法人中長期計画に基づき、単年度事業計画が策定されている。 策定にあたり職員から聴取した支援の状況と社会情勢から課題を抽出し、運営の重点を掲げ、より実現しやすい計画となっている。 また、各種会議体制・職員体制の他、利用者の生活の質をさらに向上させる為の多種多様の行事計画が策定されている。 	5

I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	・職員会議や各委員会から等で日頃から職員の意見聴取をしている。さらに決定機関である理事会前に再度、職員から意見を聴取し、組織として職員・利用者の声を拾い上げる姿勢が強く見られた。	6
I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a	・利用者への説明は、単に説明するだけでなく年度初めに1対1で説明する機会を設け、丁寧に理解してもらえるよう努めている。	7

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

	第三者評価結果	コメント	
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。			
I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	・福祉サービス第三者評価を再受審(前回令和1年)し、外部からの意見を積極的に取り入れようとする姿勢が見受けられる。 ・職員会議・ケース会議・各委員会等でより良い支援の為に生活状況を共有し、具体的な計画の見直しアドバイス等を行っている。 ・また個別支援についてはPDCA実施予定が立てられており、組織的に質の向上に取り組んでいる。 ・どの職員からも利用者の声を積極的に聞く姿勢が見られ、いつでも主任に相談できる体制がある。	8
I-4-(1)-② 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a	・職員会議・各委員会からの意見を基に今年度は12項目の具体的課題が抽出されている。 ・リーダー職員は、職員の意見を丁寧に拾いアドバイス等を適格に行っている。 ・今年度は、権利擁護・虐待防止について最重要課題として掲げ、組織として一から改めて学んでいる。 ・また、勉強会・マニュアル作成の見直し等に努めている。	9

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果	コメント	
II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。			
II-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	・管理者は、年度初めの職員会議にて方針と取組を表明し職員に理解を求めている。 ・また日頃から職員とコミュニケーションをとり、積極的に自分の考えを表明している。	10
II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	・行政の研修・指導に参加し見識を深めている。また、弁護士等に適宜、相談・助言を受ける・勉強会に出席する等知識の取得を行っている。	11

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
II-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービス第三者評価に接し、自ら施設の質のサービスの向上について課題を理解・分析しようとしている。積極的に取り組む姿勢が見られた。 ・職員が研修に参加しやすいように勤務時間内での参加、費用の補助等を本部と調整し、実現するよう努めている。 ・またサービスの質の向上の為に利用者高齢化に伴う資格支援を行っている。 ・職員面談は、提案型にアドバイスをを行い、職員の成長を思い目標を具体的に取組めるように促している。 	12
II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・法人経理規程に則り、毎年度、予算計画を立て業務を実行している。 ・計画は理事会の承認を受け公開されている。 ・施設内で定期的に見直し、改善を行い理事会にて提案している。 ・自ら考え行動できる職員を目指し、管理者は見守りつつサポートを行っている。 ・また、法人内で取り上げられた改善事項を当該施設にも適応できる様職員と共有し実行している。 	13

II-2 福祉人材の確保・育成

	第三者評価結果	コメント	
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。			
II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b	<ul style="list-style-type: none"> ・法人全体としてホームページに求人情報を掲載し常に募集を行っている。その中には現職員の声があり、求職者が具体的にイメージしやすくしている。 ・管理者は、学校関係者と就職の為の意見交換会を実施し潜在的な福祉人材の発掘に努めている。 ・職員面談は年2回行い、意見や状況を確認している。職員は年度当初に目標シートを記入し、面談時に管理者と目標を共有している。同時に提案やアドバイスを受けている。 ・職員の働きやすさを追求する為、安定的且つ継続的な採用活動を計画の上実施されることを期待します。 	14
II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・法人として人事基準が定められ、考課が行われている。 ・次世代の職員が各々の能力を発揮できるよう積極的に職務分担し人材の活性化を図っている。 	15
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から職員の意向を聴取しシフトの作成を行っている。 ・管理者は、職員が心地よく働けるように面談等を利用して意向や要望の把握に努めている。 ・家庭の事情等に合わせて、継続して働ける様に時間調整をしている。 	16
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。			
II-2-(3)-① 職員一人一人の育成に向けた取組を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に目標シートを用い、振り返りから課題を抽出し当該年度の目標を設定している。職員は具体的に実現するために管理者に共有・アドバイスを受けている。 ・毎日、主任は職員と1対1で話し合いをし、その日の課題を拾いつつ、メンタルサポートを行っている。 	17

<p>Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。</p>	<p>a</p>	<p>・行政や関連機関からの研修案内を共有している。もっと知識を得たいと学ぶ意欲のある職員が多数おり外部研修参加希望にも応じている。 ・また研修報告書には、重要ポイントが赤字で記入され、表を用いて理解されやすく報告されている。</p>	<p>18</p>
<p>Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人一人の教育・研修の機会が確保されている。</p>	<p>a</p>	<p>・目標シートを基に職員一人ひとりの成長に合わせたOJT・研修への参加が行われている。 ・特に入職時は10日間の入職時研修が行われている。 ・研修参加後は、管理者をはじめ全職員が研修報告を記入し職員間で共有している。互いの学びの機会としている。 ・コロナ禍前は、一般企業や児童養護施設での研修も行われていた。</p>	<p>19</p>
<p>Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。</p>			
<p>Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。</p>	<p>a</p>	<p>・法人全体で受け入れを行っている。 ・実習マニュアルが整備され受け入れ体制が整っているが施設の特性上、慎重に対応している。今のところ希望者はない。</p>	<p>20</p>

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

	第三者評価結果	コメント	
<p>Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。</p>			
<p>Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。</p>	<p>a</p>	<p>・法人ホームページ・パンフレット等を活用し理念・基本方針・援助内容・社会貢献活動・苦情解決の体制・基本財産・定款等を公開している。 ・また利用者の生き生きとした表情の写真が多く掲載された通信を発行し生活の様子を発信している。 ・社会福祉法の規定に基づき、財務諸表等がWAMNETで公開されている。</p>	<p>21</p>
<p>Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。</p>	<p>a</p>	<p>・法人作成の経理規程に予算・取引ルール・内部監査等定められ、適切な経営管理に努めている。 ・園の事務・経理等は事務長がルールに基づき本部へ報告している。また税理士へ報告・相談を行い透明性の高い運営がなされている。</p>	<p>22</p>

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

	第三者評価結果	コメント	
<p>Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。</p>			
<p>Ⅱ-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。</p>	<p>a</p>	<p>・通常時は納涼祭を行い地域の方々を招待し交流との交流を大切にしている。今年度は感染症予防の為やむを得ず中止となっている。 ・また年2回地域のゴミ運動に職員と利用者が参加し地域住民と一緒に近隣の清掃を通して交流を図り、近隣への理解を深められるよう努めている。 ・地域の方の意見アドバイスは真摯に受けとめ改善に努めている。</p>	<p>23</p>

<p>Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。</p>	<p>b</p>	<p>・法人全体で受け入れを行っている。ホームページには、仕事内容が明記され多岐にわたる分野の募集が行われている。 ・現在は感染症予防の為に中止にしている。 ・コロナ禍終息後に適格に再開できる様マニュアル等の見直し、スタッフの共有を行うことを期待します。</p>	<p>24</p>
<p>Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。</p>			
<p>Ⅱ-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。</p>	<p>a</p>	<p>・関係機関一覧表や各々の心身状況に合わせた医療機関や就労支援先などのリストが作成されている。 ・関係市町村及び地域の保健・協力医療機関・福祉サービス等との綿密な連携を図り総合的なサービスの提供に努めている。 ・法人は社会貢献活動の一貫として子育てサロンを開催(月1回)し、育児交流の場を設けている。</p>	<p>25</p>
<p>Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。</p>			
<p>Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。</p>	<p>a</p>	<p>・行政からの情報・相談、地域施設長会・病院主催の障害福祉サービスの集まりなどから情報収集しニーズの把握に努めている。</p>	<p>26</p>
<p>Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等に基づく公益的な事業・活動が行われている。</p>	<p>a</p>	<p>・グループホームだけに留まらず児童養護施設・地域小規模施設・ファミリーホーム・子育てサロンを行い地域のニーズに答えるべく努めている。</p>	<p>27</p>

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果	コメント	
<p>Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。</p>			
<p>Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。</p>	<p>a</p>	<p>・入職時に職員倫理やサービス規定が明記された「法人ハンドブック」を配布し、利用者尊重の理解を取組んでいる。職員ハンドブックには沢山のメモがあり積極的に取組む姿勢が見られた。 ・月1回の利用者会議から上がる要望・職員が日頃聞き取った情報等について、職員会議で話し合い、要望に応えられるようにしている。 例) 会議で上がった希望行事は「今やりたいこと」と捉え翌月実現できる様、計画変更し臨機応変に対応していた。</p>	<p>28</p>
<p>Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に配慮した福祉サービス提供が行われている。</p>	<p>a</p>	<p>・「法人ハンドブック」職員倫理規定内に「プライバシーを守り、侵害しません」と明記されている。 ・居室は個室であり、入室の際は本人に同意を得る、同性介護の優先等を行っている。</p>	<p>29</p>
<p>Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。</p>			
<p>Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。</p>	<p>a</p>	<p>・ホームページ・パンフレット・通信等に写真を掲載し分かりやすい内容にしている。 ・見学時に生活のイメージを持てるように利用者様の部屋を見学させて頂き、ホームへの入居の理解を促している。</p>	<p>30</p>
<p>Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更に当たり利用者等に分かりやすく説明している。</p>	<p>a</p>	<p>・重要事項説明書・契約書を用いて入居後の生活のおおまかな流れ・ルールについて説明し理解を促している。</p>	<p>31</p>

<p>Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。</p>	<p>b</p>	<p>・家族と暮らすための準備調整や連絡を行っている。 ・今後は家庭への移行や自立促進に向けて、より細かい支援体制を構築する事を期待します。</p>	<p>32</p>
<p>Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。</p>			
<p>Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。</p>	<p>a</p>	<p>・毎月、各棟毎に利用者会議を開催し要望や意向を聞く仕組みが整備されている。 ・また、日々主任は職員と面談し毎日利用者の状況を確認し必要なサポートができる状態にしている。 ・コロナ禍、中々外出できないので、施設内で職員が自らミニコンビニを開き利用者が自由に買い物ができ、少しでも楽しい気持ちでいられるよう努めていた。</p>	<p>33</p>
<p>Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。</p>			
<p>Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。</p>	<p>a</p>	<p>・苦情相談窓口、法人窓口、苦情解決第三者委員が設置されており、苦情相談体制が整備されている。重要事項説明書に明記し入所時に説明を行っている。 ・また法人ホームページに苦情解決の体制・流れ・窓口を掲載し周知に努めている。 ・職員へはハンドブックに苦情解決事業実施要綱を掲載し周知を行っている。</p>	<p>34</p>
<p>Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。</p>	<p>a</p>	<p>・見学時から、利用者(家族)へ月1回の利用者会議を開催し要望や意見を言える仕組みがあることを伝えている。 ・職員会議録には事前に個々の要望と不満の記入欄があり会議前にすべて記入している。それを持ち寄り職員会議で共有し、改善すべき点・実行する点を確認している。それが職員会議事録に全て記入されている。</p>	<p>35</p>
<p>Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。</p>	<p>a</p>	<p>・利用者理解の為に職員を変えて複数回聞く、場所を変えて複数回聞く、行事の中でさりげなく聞く、あらゆる場面を変えて聞く、利用者の本心を聞こうと努めている。 ・事務所に相談できる担当者が常駐して、組織的に迅速且つ柔軟に対応している。</p>	<p>36</p>
<p>Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。</p>			
<p>Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。</p>	<p>a</p>	<p>・災害委員会を設置している。 ・水防計画・災害BCP等を策定し有事の際の安全対策を講じている。 ・危険予知訓練を行い、職員の危険に関する情報を集め話し合い危険要因を共有化しリスク回避や職員の危機管理能力の向上に努めている。 ・ヒヤリハット・事故報告書を作成し多角的な視点で分析し要因を分析し再発予防に努めている。 ・職員からは「安全第一に最悪な事態を常に考えに入れておくよう指導されている」と声があった。</p>	<p>37</p>
<p>Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。</p>	<p>a</p>	<p>・保健衛生委員会を設置している。 ・感染症BCPを策定し利用者と職員の安全を守り業務継続が行える体制を構築している。 ・行政や協力医療機関等から最新の情報を入手し予防に努めている。 ・コロナ禍においては、換気の徹底・手洗いの励行・手指消毒を基本とし対策を行っている。</p>	<p>38</p>

<p>Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。</p>	<p>a</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害委員会を設置している。 ・様々な状況のマニュアルがあり、状況に応じての各避難訓練を行っている。地震避難のマニュアルには1階・2階の避難に分け、その特徴に応じて記載され避難がイメージしやすくなっている。 ・入居者別避難計画には避難順位・避難呼びかけ方法、避難時の介助方法が記載され実態に即した安全確保ができるようになっている。 	<p>39</p>
---	----------	---	-----------

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

<p>Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。</p>			
<p>Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。</p>	<p>c</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、福祉サービスの標準化マニュアルを作成予定で準備を進めている。 ・今後は全ての福祉サービスの標準的な実施方法(マニュアル)を整備・策定し、見直しの仕組みも確立するように求めます。 	<p>40</p>
<p>Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。</p>			<p>41</p>
<p>Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。</p>			
<p>Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画(個別支援計画)を適切に策定している。</p>	<p>a</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年間作成日程が決められている。 ・職員会議・各棟利用者会議(利用者の要望・意向)・利用者ケース会議・個別計画支援相談・健康状態の内容を基に利用者が抱える問題・課題を整理し個別支援計画が策定されている。 	<p>42</p>
<p>Ⅲ-2-(2)-② 定期的に福祉サービス実施計画(個別支援計画)の評価・見直しを行っている。</p>	<p>a</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメント・計画策定・修正・モニタリングのサイクルが確立し、10月に見直し・3月に振り返りを行っている。 ・その他に各棟会議で上がったアセスに関しても都度都度計画に反映している。 	<p>43</p>
<p>Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。</p>			
<p>Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況(個別支援計画)の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。</p>	<p>a</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計画は策定時・更新時に確認するよう周知されている。 ・利用者の様子・健康状態はケース記録に日々記録されている。 ・毎日2回のバイタルの記録、服薬状況をチェックリストに記録し、健康状態を把握している。 ・特に服薬チェックリストは、錠剤の数や形状に合わせて丸数字で表記する工夫が行われ職員が確認しやすく誤薬を防止に役立っている。 	<p>44</p>
<p>Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。</p>	<p>a</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に関する記録物は鍵付きの書庫で管理している。 ・法人で文書管理規定が策定されており規定に則り管理されている。 	<p>45</p>

A 個別評価基準

A-1 利用者の尊重と権利擁護

	第三者評価結果	コメント	
A-1-(1) 自己決定の尊重			
A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の際は、利用者の意向を尊重しながらいくつかの選択肢を提示し入居者が選べるようにしている。 ・例えば施設に寄付された洋服や備品等は自ら選択出来るように声をかけサポートしている。 ・利用者参加会議の問題に関して当事者同士で解決に向かって話し合える様支援している。 ・買物同行時に社会感覚の育成や金銭感覚を身に付ける目的で品物を選んで買えるよう援助している。 	46
A-1-(2) 権利侵害の防止等			
A-1-(2)-① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の重点項目に上げ、実効性を高める為に委員会組織を立上げ活動している。 ・権利擁護について厚生労働省の手引きやチェックシートを用い、毎月勉強会を行っている。 ・生活場面を想定し職員間で意見交換や検討を行い、共通理解を高めている。 ・職員と利用者が密室にならない様に複数での対応やドアを開けて対応している。 	47

A-2 生活支援

A-2-(1) 支援の基本			
A-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者一人ひとりが自立した生活ができるよう職員は危険が及ばないよう見守り支援を行っている。 ・利用者の希望にそって個人の能力に合わせてできる事を少しずつ増やせる様サポートしている。 ・洗濯・掃除・身だしなみ等、自ら行動できるように支援している。 ・また利用者と共に食材の買出しに行き、社会状況を伝えつつ(例:野菜の高騰の理由など)実社会に即した生活体験ができるようにしている。 	48
A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・一日2回のバイタルチェック時に体調と精神状態の確認を行っている。 ・精神不安定時は個別に時間を取り対応している。 ・また、アニマルセラピーとして犬と触れ合うことで利用者の安定を図っている。 	49
A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者会議の他個別の相談を行っている。 ・個別の相談は居室の他、面談室を利用し落ち着いて話せ、他者から話の内容が聞こえない等配慮している。 ・日誌・ケース記録に記入し職員共有を図っている。また職員会議にて意見を出し合い支援内容の計画調整を行っている。 ・会議以外にも普段から利用者との話し合いは丁寧に行い、テラスで話す等、話しやすい雰囲気づくりも大切にしている。 	50

<p>A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。</p>	<p>a</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で作業所に出勤できない利用者が多い為、1日2回のレクリエーションを提案し、生活リズムの乱れ防止、ストレス発散ができるようにしている。 例えば、散歩・カラオケ・キャッチボール等、当日の要望になるべく応えられるように努めている。 ・今年度は、体を動かしたい要望に応じてトレーニング機器を導入した。 	<p>51</p>
<p>A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。</p>	<p>a</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の心身の状況は職員会議・ケース会議・日々の記録で共有され支援方法の話し合いが行われ共通理解された個別の支援に努めている。 ・またその記録はファイリングされ職員はいつでも確認が出来るようにしている。 ・利用者の不適切行動について医療機関と連携を図り、助言・指導を受け対応している。 ・「無理はさせない」が職員に周知徹底されており、状況に応じた支援を行っている。 	<p>52</p>
<p>A-2-(2) 日常的な生活支援</p>			
<p>A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。</p>	<p>a</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食事はなるべく家庭に近い内容で提供している。 ・楽しく食べられるようにリビングはカフェ風にしたり、気候の良い季節にはテラスで食事をする等している。 ・身体介助が必要な利用者は、職員が専門資格を取得し理論に基づいた適切な支援が行えるようにしている。 ・調理担当者は積極的に利用者へ声掛けをし、次回の献立に反映させていた。 ・また、買出しの際自立支援の為に利用者と共に出かけ社会状況を伝えていた。 	<p>53</p>
<p>A-2-(3) 生活環境</p>			
<p>A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。</p>	<p>a</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が心地よい空間で生活できる様、専門スタッフにより清掃と消毒を行っている。 ・施設内を定期的に見回り、安心・安全な環境を確認している。 ・破損箇所チェックリストを用い各所の危険箇所をチェックしている。 ・居室・食堂・浴室・トイレは明るく清潔な状態が保たれている。 ・さらに共有部の庭や居間の熱帯魚等は手入れが行き届き利用者の癒しにもなっている。 	<p>54</p>
<p>A-2-(4) 機能訓練・生活訓練</p>			
<p>A-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。</p>	<p>a</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・数年後も現在の生活が維持できる様、個人の就労や生活状況に合わせ身体を動かす機会を作っている。 ・コロナ禍でも体を動かせるようにトレーニング機器の導入をし、体操・ダンス等を行える機会を増やしている。 	<p>55</p>
<p>A-2-(5) 健康管理・医療的な支援</p>			
<p>A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。</p>	<p>a</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者は自分の不調を感じられない・上手く伝えられないことが多い為、変化を見逃すことがないように一日2回のバイタルチェックを行い、職員間で共有している。 ・また、予測される状況を共有し早めに通院する等対応している。 ・体調不良時の食事は即、食事形態を変える等、臨機応変に対応している。 	<p>56</p>

<p>A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。</p>	<p>a</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内ルールに則り管理・提供・記録されている。 ・薬は事務所で管理しサービス管理責任者が1人ずつ1日分をセットしている。 ・配薬は1日1人（サービス提供管理者と主任のいずれかが）が担当し思い込み誤薬防止を行っている。 ・また、服薬チェックリストは形状毎に数字にマークがされ確認がしやすいようになっている。 	<p>57</p>
<p>A-2-(6) 社会参加、学習支援</p>			
<p>A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。</p>	<p>a</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・企業等から受ける招待行事や地域のボランティア活動等の情報は利用者に案内し参加希望を聞いている。希望者には感染や安全に配慮し職員が引率している。 ・作業所が休日となるお盆や年末年始は、家族に連絡し帰省の意向やスケジュール調整を行っている。送迎が必要な利用者に対しては送迎支援を行っている。 	<p>58</p>
<p>A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援</p>			
<p>A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。</p>	<p>a</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「一人暮らしがしたいね」など一人ひとりの判断能力にあわせ促しているが、未だ希望者は出ていない。 ・家族同居について、行政や職場と連携し進めていた。 ・今後も希望に沿ってサポートしていく意向がある。 	<p>59</p>
<p>A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援</p>			
<p>A-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。</p>	<p>a</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に利用者家族へ写真やオリジナル通信を送付している。 ・面会は希望に応じて行っている。 ・家族から帰省時の対応の仕方や心配事の相談に応じている。 ・家族を招待しての行事・イベント開催等は、感染症や個々の利用者の心情を踏まえ、多角的に慎重に検討している。 	<p>60</p>
<p>A-3 発達支援</p>			
<p>A-3-(1) 発達支援</p>			
<p>A-3-(1)-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。</p>		<p>評価外</p>	<p>61</p>
<p>A-4-(1) 就労支援</p>			
<p>A-4-(1)-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。</p>		<p>評価外</p>	<p>62</p>
<p>A-4-(1)-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。</p>		<p>評価外</p>	<p>63</p>
<p>A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。</p>		<p>評価外</p>	<p>64</p>